

令和2年度 冬季展
財団設立70周年記念

2020年11月21日(土)
～2021年1月31日(日)

会期中、一部展示替えがあります。

[開館時間] 10:00～16:30(入館は16:00まで)

[休館日] 毎週月曜日(但し11/23・1/11は開館し、11/24・1/12は休館)、年末年始(12/28～1/8)

[入館料] 一般:1000円/シニア(70歳以上):800円/大学・高校生:500円

※中学生以下、障害者手帳をご提示の方及びその介助者(1名)は無料

[主催] 永青文庫、熊本大学永青文庫研究センター、熊本県立美術館

[協力] 熊本大学附属図書館

※ご来館にあたって事前予約は必要ありませんが、混雑時はお待ちいただく場合がございます。

※マスク着用の上、ご来館ください。当館の新型コロナウイルス感染拡大予防対策についてはホームページをご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開館時間の変更または臨時休館となる場合がございます。

細川コレクション



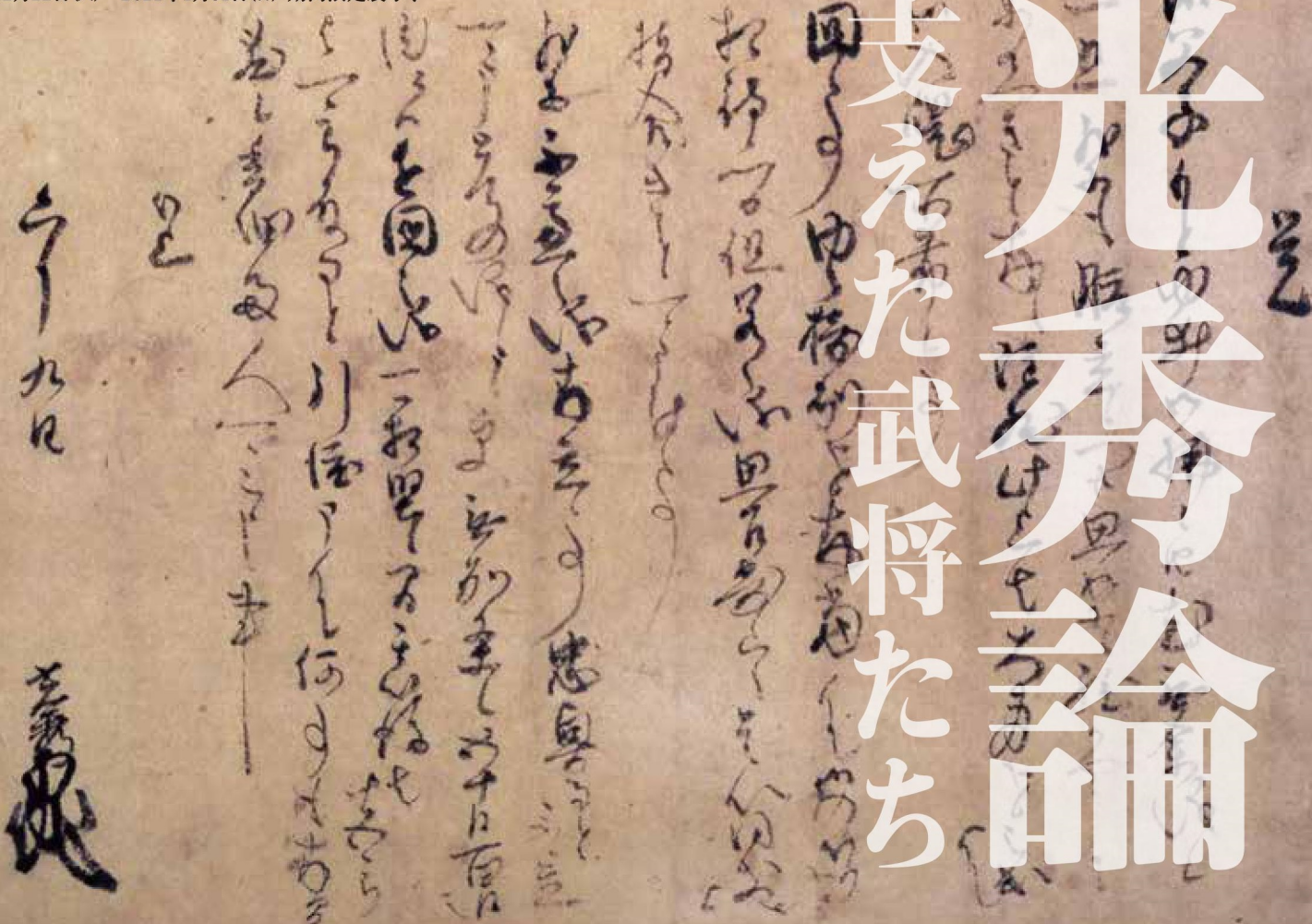
永青文庫

EISEI BUNKO MUSEUM

本能寺の変後、細川家に助けを求めた光秀の手紙
重要文化財「明智光秀覚条々」細川藤孝・忠興宛(天正10年(1582)6月9日 永青文庫蔵
12月22日(火)～2021年1月31日(日) 期間限定展示!

新・明智光秀論

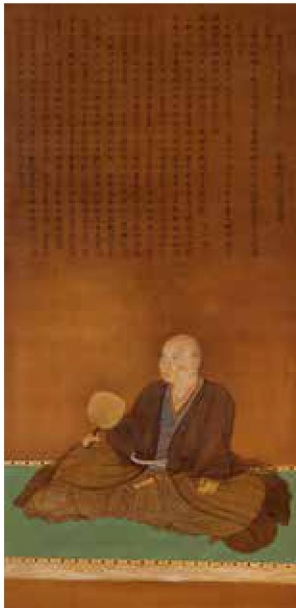
細川と明智信長を支えた武将たち



歴史好き必見！豊富な史料から光秀の実像に迫ります

足利義昭^{よしあき}に仕え、のちに織田信長に重用された明智光秀は、主君を同じくする細川家初代・藤孝^{よじたか}と公私にわたり親密な間柄でした。そのため、細川家の文化財を管理する永青文庫には、信長が光秀や藤孝に宛てて出した書状など、光秀の動きを知ることができる数多くの史料が伝わっています。そこからは、一向一揆との対決や、信長を裏切った荒木村重討伐、丹後支配などの場面において、ふたりが常に連携しながら行動していたことがうかがえます。

本展では、最新の研究をもとに、光秀の最初期の活動実態をはじめ、織田政権下での軍事的手腕、盟友・藤孝との協働、本能寺の変の意義までを歴史資料から読み解くことで、「謀反人・光秀」のイメージを覆す、先進的な智将としての新たな人物像を提示します。加えて、細川忠興^{ただあき}に嫁いだ光秀の娘・玉(ガラシャ)の波乱に満ちた生涯も関係史料から紹介します。



光秀の盟友・藤孝
「細川幽斎(藤孝)像」
江戸時代(18世紀)



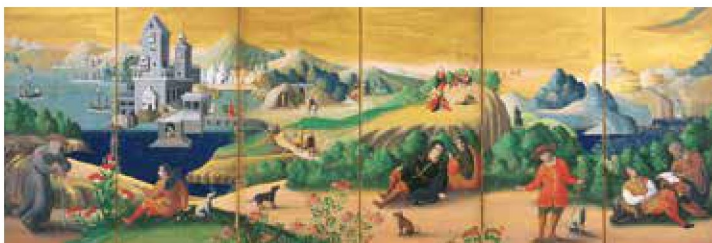
謎多い若き日の光秀の活動を示す最古の史料
「針葉方」米田貞能(求政)永禄9年(1566)10月書写
個人蔵(熊本県立美術館寄託)



光秀ら一揆の最前線の武将に宛てた信長の手紙「油断なく！」
重要文化財「織田信長黒印状」藤孝・長秀・一益・光秀宛
(天正5年(1577))3月15日



幽閉先まで付き従った侍女への手紙
「細川ガラシャ消息」松本小侍従宛 桃山時代(16世紀)



ガラシャが生きた時代の絵画 重要文化財「洋人奏楽図屏風」桃山～江戸時代(17世紀)

【展示期間】右隻:11月21日～12月27日、左隻:1月9日～1月31日

※とくに記載のないものは永青文庫蔵



記念講演会「明智光秀 その役割と記憶」

【日時】2021年1月9日(土)13:30～15:00

【講師】稲葉 継陽 氏(熊本大学永青文庫研究センター長)

【会場】和敬塾 学生ホール 大講堂(東京都文京区目白台1-21-2)

※永青文庫の隣 徒歩3分

【定員】120人(先着順) 【参加費】1000円(友の会会員・学生500円)

【申込方法】12月5日(土)午前10:00より電話(03-3941-0850)にて先着順に受付

【特典】講演会に参加された方は、参加券のご提示で、当日に限り冬季展の入館料が500円になります。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更・中止となる場合がございます。



【交通案内】●JR目白駅(「目白駅前」バス停)・副都心線雑司が谷駅 出口3(「鬼子母神前」バス停)より、都営バス「白61 新宿駅西口」行きにて「目白台三丁目」下車徒歩5分 ●都電荒川線早稲田駅より徒歩10分 ●有楽町線江戸川橋駅(出口1a)より徒歩15分 ●東西線早稲田駅(出口3a)より徒歩15分

【住所】〒112-0015 東京都文京区目白台1-1-1

TEL:03-3941-0850 <http://www.eiseibunko.com/> eiseibunko



永青文庫は
熊本ゆかりの
美術館
©2010熊本県くまモン